

平成 27 年度 「学校へ行こう週間」 公開授業 & 進路講演会

11月6日（金）

『公開授業』

文科省も推進しており、最近小中高校にも広がりつつあるアクティブラーニング型授業。1年生の英語の授業を拝見させていただきました。

教室に伺った時は授業の後半で、アクティブラーニング的な授業は終わっていましたが、実際に見ることはできなかったのですが、生徒同士のやり取りで解答に導き理解していく授業のおかげか、6時間目という集中力が途切れる時間帯にも関わらず、生徒たちは真剣に取り組んでいました。



※アクティブラーニング（能動的学修法）とは

教員が講義形式で一方向的に教えるのではなく、学生や子どもたちが自分から進んで、更にお互いが協力しながら学ぶ指導・学習方法の総称。具体的には、発見学習、体験学習、問題解決学習、調査学習などがあり、討論やグループワークなども有効な学習方法とされている。

『進路説明会』

講演テーマ：「親子で乗り切る大学受験」

講師：河合塾広島校 校舎長

毛利美佳様

80名程度のPTA参加者が聴講しました。

少子化で受験者数は減少しているのに大学の募集人員は増加している現象に、ワンランク上の大学を狙える時代とのこと。受験生である我が子の不安な気持ち、そしてやる気を起こさせる声かけなど、受験生をもつ親の心構えまでお話いただきました。



見守ることが
大切なんですね。